

# 新サービス「セルフ・ラン」試行開始のお知らせ

自然科学研究支援開発センター・遺伝子実験部門

2009年11月

日頃からDNA塩基配列決定サービスをご利用頂きありがとうございます。このたび当方ではABIジェネティックアナライザを一台増設しましたので、旧機を「セルフ・ラン」方式による共同利用機として試験的に開放します。ただし、50cmキャピラリーで泳動しますので、解析時間60分（1ラン）解読鎖長は500b～600bです。利用される方は必ず事前に講習を受けてください。

**試行期間：2009年11月9日（月）～2010年3月31日（水）**

サービス内容：酵素反応後、精製済みサンプルのセルフ・ラン

サービス料金：無料（試行期間限定）

#波形データとテキストデータは泳動終了後にメールでお送りします。

●利用時間：月～金、9時～15時

●利用申し込み：利用者は利用予定前日までにHPから申し込んでください。

HPアドレス：<http://www.hiroshima-u.org/0901dnaform.htm>

- ・申し込みフォームの依頼内容で「プレート・ラン」を選択し、記入例の欄に「セルフ・ラン」と入力して使用予定日と開始時間を記してください。
- ・お申し込みはお一人様1回につき1ランでお願いします。

●その他注意点

原則として、技術員（彦坂）の勤務時間内で、講習を受けた方のみでの利用とさせていただきます。不適切な操作が原因で機器が使用不能になった場合には、修理費等の負担をお願いすることになります。機器は細心の注意を払ってご利用くださるようお願いいたします。

その他、サービスの詳細は、担当の彦坂（内線：3060、[cgswww@hiroshima-u.ac.jp](mailto:cgswww@hiroshima-u.ac.jp)）までお問い合わせ下さい。

本事業の趣旨：現在、持続可能な社会へ向けての健康管理、環境・エネルギー問題に対し、安全・安心な解決策や対応策が望まれています。広島大学ではこの問題解決に向けて理・工・医学系研究者の連携による全学横断的研究プロジェクト「持続可能な社会構築に向けたイノベーション創出」を推進しています。本プロジェクトでは「教育研究高度化のための支援体制整備事業（平成21年度補正予算）」のサポートで広島大学における高度な教育研究支援体制の整備を進めており、その一環として本事業が実施されます。